

【各試合の結果・詳細】

第1試合

岐阜朝日クラブ 3 $\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 天理大学ベアーズ

勝点 23 勝点 20
7 勝 2 分 2 敗 6 勝 2 分 3 敗

＜得点＞
岐阜朝日 : 13分横山、26分伊藤、41分百成
天理大学 : 57分落合

＜戦評＞
岐阜朝日クラブのセンターパスから試合が開始される。両チーム共に序盤から激しい攻撃を仕掛ける。4分、天理大学ベアーズはPCを取得、右からのタッチシュートを狙うが枠を外れる。続く13分、岐阜朝日の#27森が左サイドからセンタリング、それを#19横山がタッチシュートし、先制点を挙げる。その後もたて続けに岐阜朝日は攻めに入り、14分、18分と天理大学ゴールを脅かすと、迎えた26分、#10伊藤が高い位置からインターセプト、そのまま持ち込んでシュートし追加点を挙げる。まずは1点が欲しい天理大学は、28分、32分とゴール前での決定的なチャンスを作るが決めきれない。そのまま前半は2-0で折り返す。
後半になっても両チーム共に一步も引かない展開。41分、岐阜朝日がPCを取得、#2百成がフリックシュートを右上に決め突き放す。天理は57分、右サイドからパスでえぐり込み、真ん中にいた#9落合が落ち着いて決めて一矢報いるが、そのまま試合は終了し、3-1で岐阜朝日が勝利した。この結果、岐阜朝日が第3位、天理大学が第4位でそれぞれ次週のプレーオフへと駒を進めた。

テクニカルオフィサー	堀田 光昭	アンパイア	近藤 聡史
ジャッジ	西松 孝治		小原 直也

第2試合

小矢部RED OX 3 $\begin{pmatrix} 3 & - & 2 \\ 0 & - & 2 \end{pmatrix}$ 4 福井クラブ

勝点 10 勝点 20
2 勝 4 分 5 敗 6 勝 2 分 3 敗

＜得点＞
小矢部R : 13分早田、30分早田、32分宮田
福井クラ : 14分渡辺、27分為国、58分小林、66分為国

＜戦評＞
福井クラブのセンターパスで試合が開始された。13分、小矢部RED OXは#10早田がサークルインと同時に素早いプッシュシュートを放ち、先制点を挙げる。対する福井クラは14分、右サイドのパス回しからセンタリングをあげ、それを受けた#13渡辺がプッシュシュートを決め、すかさず同点に追いついた。両チーム共に一步も譲らない状態が続く中、27分、福井クラはPCから#2為国のフリックが左下に決まり同点に。すると30分に小矢部Rは、#10早田がキーパーをかわし、倒れこみながらのリバースシュートを決め追いつくと、その勢いのまま32分にも、#10早田のパスから#2宮田がシュートを決め勝ち越しに成功する。
後半に入り43分、福井クラはパス回しからセンタリング、そのタッチシュートは惜しくも枠に当たり得点できない。その後は一進一退の攻防で、お互い譲らない展開。迎えた58分、福井クラは#18小林がリバースシュートを決め、遂に同点に追いつく。そして66分、福井クラはPCから#2為国が左上にフリックを決め、勝ち越しに成功、そのまま試合が終了し、福井クラが逆転でシーソーゲームを制した。結果、福井クラは第6位で次週のプレーオフ進出、小矢部Rは第8位となった。

テクニカルオフィサー	松下 正寿	アンパイア	松原 久
ジャッジ	西松 孝治		児玉 茂樹

第3試合

立命館大学ホリーズ 1 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 Selrio島根

勝点 24
7 勝 3 分 1 敗

勝点 9
2 勝 3 分 6 敗

<得点>
立命館大 : 63分藤吉
セル島根 : 50分加納
<戦評>

Selrio島根のセンターパスで試合が開始される。序盤から立命館大学ホリーズはボールをキープしながら前線へと攻め入るが、セル島根を守護陣を崩せず、ゴール前までは辿りつけない。セル島根も隙をみて攻めの姿勢へと転じるがゴール前にはたどり着けない。迎えた15分、立命館大はPCを取得、しかしフリックは右に外れ得点に至らない。その後28分、31分と立命は立て続けにPCのチャンスを得るが決めることが出来ない。そのままスコアレスで前半を折り返す。

後半に入り、両チームともに攻撃が激しくなる。46分、立命館大のPCによるタッチシュートはセル島根の守護陣に阻まれる。そして50分、セル島根はPCから#13加納のフリックが左中段に決まり、先制点を挙げる。追いつきたい立命館大は63分、右サイドから#1藤吉がタッチシュートを決め同点に追いつく。勢いに乗る立命館大は65分、PCを獲得。勝ち越しを狙うが、フリックシュートはGKにセーブされ、そのまま試合は終了した。

結果、立命館大は第2位で次週のプレーオフへ。セル島根は第10位となった。

テクニカルオフィサー	堀田 光昭	アンパイア	宮川 敏充
ジャッジ	松下 正寿		高橋 英行

【各試合の結果・詳細】

第1試合

山梨学院OCTOBER EAGLES 2 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 1-2 \end{pmatrix}$ 2 東京農業大学

勝点 12
3 勝 3 分 5 敗
勝点 10
3 勝 1 分 7 敗

<得点>

山梨学院 : 17分草野 70分大家
東農大 : 48分吉田 63分山口

<戦評>

東農大のセンターパスから試合が開始された。1分山梨学院の打ち込みから#5小森がシュートを放つが枠を捕えられない。続く5分山梨学院がPCを獲得するが得点にはいたらない。9分東農大もPCを得るが山梨学院のDFに阻まれる。17分山梨学院#10草野がスルーパスからのプッシュシュートで得点をあげる。29分には山梨学院の早いリスタートからPCを獲得するが、東農大GKの好セーブに阻まれる。その後も一進一退の攻防が続く、山梨学院が1点リードで前半を終了。
後半に入ると、両者の攻防はさらに激しさを増す。東農大の猛攻が続く中、山梨学院のすばらしいディフェンスにより得点に結びつかない。48分東農大はPCから#3吉田が強烈なフリックシュートをゴール右上に叩き込み同点とする。対する山梨学院は49分にPCを獲得するが得点にはいたらない。東農大はスピードある攻撃を中心に優勢な試合運びから、63分PCから#2山口がリバウンドを叩き込み逆転する。その後、山梨学院が反撃にでて、70分#20大家がタッチシュートを決め、終了間際に追いつく。このまま2-2で試合が終了した。

テクニカルオフィサー	浅野 久雄	アンパイア	戸塚 洋介
ジャッジ	近藤景久		木下 英貴

第2試合

名古屋フラーテルホッケーチーム 1 $\begin{pmatrix} 0-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$ 0 法政大学

勝点 31
10 勝 1 分 0 敗
勝点 3
1 勝 0 分 10 敗

<得点>

名古屋F : 55分橘
法政大 :

<戦評>

名古屋Fのセンターパスにより試合開始。序盤から名古屋Fがゲームを支配する。法政大もカウンターからチャンスを作るが、シュートまでにはいたらない。9分、19分と名古屋FがPCを獲得するが、法政大の守備を崩すことはできない。31分名古屋F#17橘が法政大DFのミスからボールを奪い、強烈なヒットシュートを放つが法政大GKの好セーブにより得点することができない。反撃にでたい法政大は34分にPCを獲得、ヒットシュートにより得点を狙うがゴールにはならない。両チーム得点が無いまま前半が終了。
後半に入っても、名古屋Fペースで試合が進み、38分、41分、44分と立て続けにPCを得るが得点にはいたらない。その後も名古屋Fは細かいパス回しで法政大ゴールを狙うが、法政大は粘り強いディフェンスで得点を許さない。名古屋F優勢のまま試合が進み、55分名古屋FはPCから、#17橘のヒットシュートが決まり、待望の先取点をあげる。法政大も反撃から63分にPCを得るが、ゴールすることはできず後半が終了。1-0のスコアで名古屋Fが勝利した。

テクニカルオフィサー	浅野 久雄	アンパイア	西間庭 浩
ジャッジ	鯨井 暢		野澤 達

第3試合

ALDER飯能 1 $\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}$ 1 診療印刷

勝点 20
6 勝 2 分 3 敗

勝点 3
0 勝 3 分 8 敗

<得点>
AL飯能 :
診療印刷 : 70分
<戦評>

AL飯能のセンターパスから試合が開始。序盤は両チームの一進一退の攻防が続く。両チームとも細かいパスをつなぎ、果敢に攻めるも得点には結びつかない。6分診療印刷は#6佐藤がシュートするがゴールにはならない。15分診療印刷がPCを獲得するが、AL飯能GKの好セーブに阻まれる。反撃したいAL飯能は、31分にPCを獲得し#11北里がフリックシュートを決め、均衡を破り、前半が終了。

後半も前半同様、一進一退の攻防が続く。両チームともPCを得るが得点にはならず、65分診療印刷はPC獲得から、相手の反則を呼びPSを得る。決めたい診療印刷だったが、AL飯能GKの吉田はスーパーセーブでこれを防ぐ。このまま終了かと思われた70分、診療印刷はPCを獲得し、これを#6佐藤がリバウンドを押し込み同点となったところで試合終了。埼玉ダービーは、1-1の引き分けに終わった。

テクニカルオフィサー	近藤景久	アンパイア	成田 健一
ジャッジ	鯨井 暢		渡邊 道彦